
結婚指輪物語
Tales of Wedding Rings
1
Presented by
めいびい

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS

結婚指輪物語

Tales of Wedding Rings

めいびい

1



Tales of Wedding Rings

結婚指輪物語

1

Contents

Presented by
MAYBE


――それは突然
太陽のようにまぶしい
光の中から現れて……
……っ!?
……あなた
名はなんと言うの？
ぼ…
僕っ!?
僕は…
佐藤……
……そう
変わったお名前
サトウ？
今ここで見たことは
誰にも言っちゃダメ
です
むしろ
できれば
忘れてください
ええっ!?
う……
うん！


僕の心を奪ってしまった――
かわりにこのわたしがお友達になってあげる
わたしの名前は――ノカナ――ヒメ…
第1話




10年後——
おはようサトウ!
おはよう……ヒメ
小さい頃は本物のお姫さまみたいだったんだけどな……


はいっ
朝ごはん!
ラップ包みのおにぎり
ヒメ——
野中姫乃(のなかひめの)は
俺の幼なじみだ
はやく
行くよっ!
ウチの隣に
引っ越してきたのは
ちょうど10年前
日本人名を
名乗っているが
どう見ても
日本人ではない外見
両親はいないらしく
祖父と二人暮らしを
している


そんなヒメと俺は
小さい頃
“ある約束”をした
…ん？
ヒメのじいさん！
行ってきます！
おお…
気をつけてな


サトウのお父さんさ
まだ帰って来ないの？
あと1か月くらい…夏休みが終わるまではたぶん帰って来ないかな
大変だねお仕事
もう慣れた


……この指輪？
この指輪はね
将来結婚するひとに
あげる
大事なものなんだ
サトウくん！
？
大きくなったら
わたしと
結婚してくれる？


……それ
昔からずっと持ってるよな
…コレ？
大事なものだからね
…あげないよ？
………ま
小さい頃の約束なんてそんなもんだ


ヒメはただ
覚えていないだけなのか
それとも………
期末どうだった？
もう…最悪 補習決定
これさ… 何点満点だっけ？
ガヤ
ガヤ
パパーン
数学Ⅰ 解答用紙 1-B 野中姫乃
うわーっ さすがヒメ！
かしこいな～～っ
ふふん… わたしは正真正銘
お姫さまだからね！
だから どこの国のよ！
キャハハハハ



あ〜あ 明日から 夏休み だってのに……
夏！
海！
俺も 彼女 欲しい！
サトウは 良いよな〜
余裕のオーラ 彼女持ちは 違うわ
？
ヒメ！ 野中さんの ことだよ！
…いやいや 俺とヒメは 付き合ってる わけじゃないよ
えっマジで
コイツ 本気で 言ってんの？
昔から ずっと… 友達だからな
かえって 脈がないって いうか
はあ〜？ そんなん 関係ねー
あんな可愛いコ 俺だったら即 付き合うのに！
お前さ今の立場に甘えて いつか手遅れになっても 知らねーぞ？

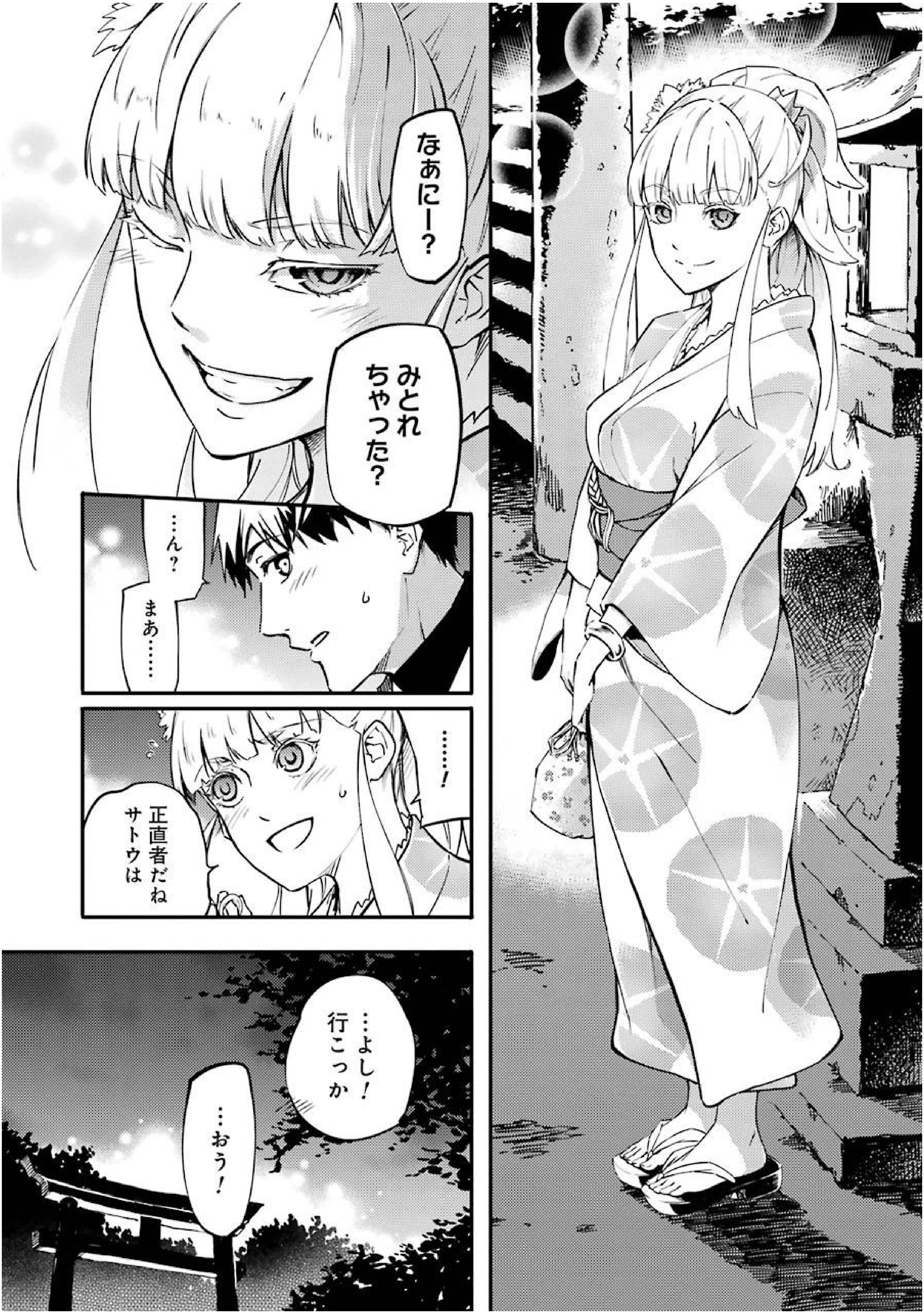


鈴木(すずき)はどう？野中さん
俺？可愛いとは思うけど
ああいう派手なタイプはちょっと……
甘えてる…か
確かに
実際のところ俺は凄く気にしている
チラッ


ヒメは俺のこと
どう思ってるんだろう？
……やっぱり
ただの幼なじみとして
見てるんだろうか？
正直…今の関係が
崩れるくらいなら
現状維持も悪くない
きっと
来るべき時が来れば
なんとかなる
これ以上は
……高望みか
ヴ――ッ
ヴ―――ッ
ガタガタ
ん？
ヒメから…？
16:15
編集
ヒメ
メッセージ
連絡先に追加
メール
2014/07/20 16:15
夏祭り
今日の放課後夏祭り
行くよ！神社前6時
で待ち合わせね
件名
なんで
わざわざ…
直接
言えよ…


はっ
いや…少しは
少しくらいは
期待したって良いはずだ!


門が開くまで
あと
6時間…か
サトウに
ちゃんと
言えるかな
ヒメ！
もう
来てたのか
！


なぁにー？
みとれちゃった？
…ん？まあ……
……！
正直者だねサトウは
…よし！行こっか
…おう！


わーーっ！
やっぱ良いよね！
お祭りってテンションが上がっちゃう！
とりあえずなんか食べよう！
おいヒメちょっと待て！あんま先行くな
ねぇサトウ
覚えてる？
？


ちっちゃい頃
ここのお祭りに来たの
二人一緒に迷子になっちゃって…
わたしたちだけは離れないように……って
サトウわたしの手ずっと握っててくれたよねー
あの頃はちっちゃいなりに
格好良かったのにね？
今は違うのか？
あはは…
俺たちは…今までずっとこうだった
ぐっ…
だけど……今日は違う！


二人の間の距離を縮めて
キャー♥
ボチャン!
ヒメの気持ちを確かめて……
そして…
サトウ アレも取るのだ!
これまでの関係を変えてみせる!
コーン


ブラーーン
ブラーーン
あ〜〜〜楽しかった！
こんなにはしゃいだの小学校以来かも
そっか？しょっちゅう騒いでるように見えるけど
それっていつまでも小学生みたいってこと？
失礼なサトウめ
わたしはもうじゅうぶんオトナだよ！
…いける
今なら……いける気がする！
よし……言おう！


俺はヒメのことが好きだ！
ヒメは俺のことをどう――
ねぇサトウ
ずっと黙ってて言えなかったことがあるんだけど……
……え？
なんだこれ…？
え…？
これって…もしかして……！？
わたし――
え…？


明日
引っ越すんだ
……!?
おじいちゃんの故郷に
帰ることになった
遠いところ…
………なんだ


そんな……突然
ウソだろ!?
ヒメ……
……俺っ……


サトウ！
今日はありがとうね！
いちばんの…友達サトウと一緒にいられて良かった！
ホント……最後に良い思い出ができたよ


…じゃあね！
バタンッ


バタン…
もう良いのか？
……うん
ガチャ
サトウくんにはちゃんと伝えられたかい？
もう……いいの


……ワシは先に行っておくからの支度ができたらおいで


何も変えられなかった
……それどころか終わってしまった
我ながらタイミングが悪いというか……情けないな
ヒメ…遠いところって言ってたけど
ゴロン
どこに引っ越すんだろうか
思えば俺はヒメのこと
知ってるつもりで何も知らない
おじいさんがどこの国の人なのか どうして両親がいないのか
大事そうにしている あの指輪も
俺にとっては幼い頃の都合の良い思い出の品でしかない
踏み込めば……今までの関係が壊れてしまう気がして


ヒメと出会った時の
ことだってそうだ……
何か……
パアアア
……!?
ガラッ
何か不思議なことが…
あったような?




ヒメっ…
行くな!!
はっ


はぁ、
はぁ…
サトウ…
やっぱり…
そうか
この光景は
見たことがある
あの時……
ヒメと出会った
時に！


……覚えてたんだ
だったらわかるよね
わたしが帰るのはここではない世界
実はね…わたし
結婚するんだ
……え？
わたしはお姫さまだからね…どうしようもないの
だからこれは本当のお別れ


スウウウウ……
!!
ヒメっ!
さよなら
サトウ…
楽しかったよ


光が……
消えて………
………？


俺は…なんのために
ここに来た？
今更ヒメを
見届けるためか…？
違うだろう？
だったら……！
考えるだけ
無駄だな




どうなった……?
ヒメは……?


ノカナティカ王女
光の輪の君
クリストル・ノバティ・ノカナティカ
ギサラス第二王子
マルマリギアス・ギサラス
汝ら二人はこれより
輪に結ばれる――


光の輪の君
聖なる口づけをもって
光のレガリアを王子に……
!!
誰だ…
アレは？
ざわ…
姫の後から
ついて来た
………？
ざわ…
ヒメっ…！
ビクッ


なんで……
来ちゃったの？
クリストル姫……？
彼は？


ズゥゥウン…
…………は？


いやあああっ!!
深淵の魔物だ！
ザシャッ
やはり…姫の命を狙ってきおったか
今まで姫を異界に隠しておいて正解だったわ！
賢者アラバスタ様！


シュタッ
ヒメの……
じいさん!?
ポケー…
サトウくん!?
はっ
グググッ……
どうしてここにおるんじゃや!?
グオオ
!!
ドガァッ…


………ぐっ…
パラ…
やはり…
光の指輪
なくしては……
バ
バッ
クリストル！
光の指輪を
はやく王子に！
はっ


なんか勢いで来ちゃったけど……
これは思ったよりヤバいところだな！
ぎゅっ…


サトウっ！


!!
パァァ…!!
グオッ!!




なっ……
なんという
ことを～～……
そういうことか…
クリストル姫
グオオオオッ…
貴公！
ザッ
ビュッ
これを使え…！


ミシッ
…すげぇ！ホンモノの剣だ！
すげぇ…いや……凄いんだけど！
こんなもんでどうしろと…
パァッ
!?


グオオオオッ


なんだかよくわかんねーけど…
こうすればいいんだな！


ドシャッ…


くらっ…
……?
バタッ
……サトウっ！
フ——っ
——…


おはよう……サトウ
ぐっ……
まだからだ重い？
ここは……どこだ？


王夫婦の寝室
しっ…寝室!?
夫婦の!?
だって……別々だと変でしょ?
わたしたち夫婦になっちゃったんだし
…!
これは……ヒメがずっと首から下げていた……
結婚指輪!



……本当に
結婚したのか
俺たちは……!?
じゃあ さっきのは
いわゆる誓いのキス……!
!!
ヒメは…やっぱり
俺のことを………?


ホントはね…
あの王子様と
結婚しなきゃ
いけなかったん
だけど……
アイツか!!
あんなの…
なんかよく
知らない人だし……
もにょ
そんな人と
結婚したく
ないし……
もにょ
知らないんだ…
そしたら……
目の前に見知った
顔があったから…
つい……
ついっ!?

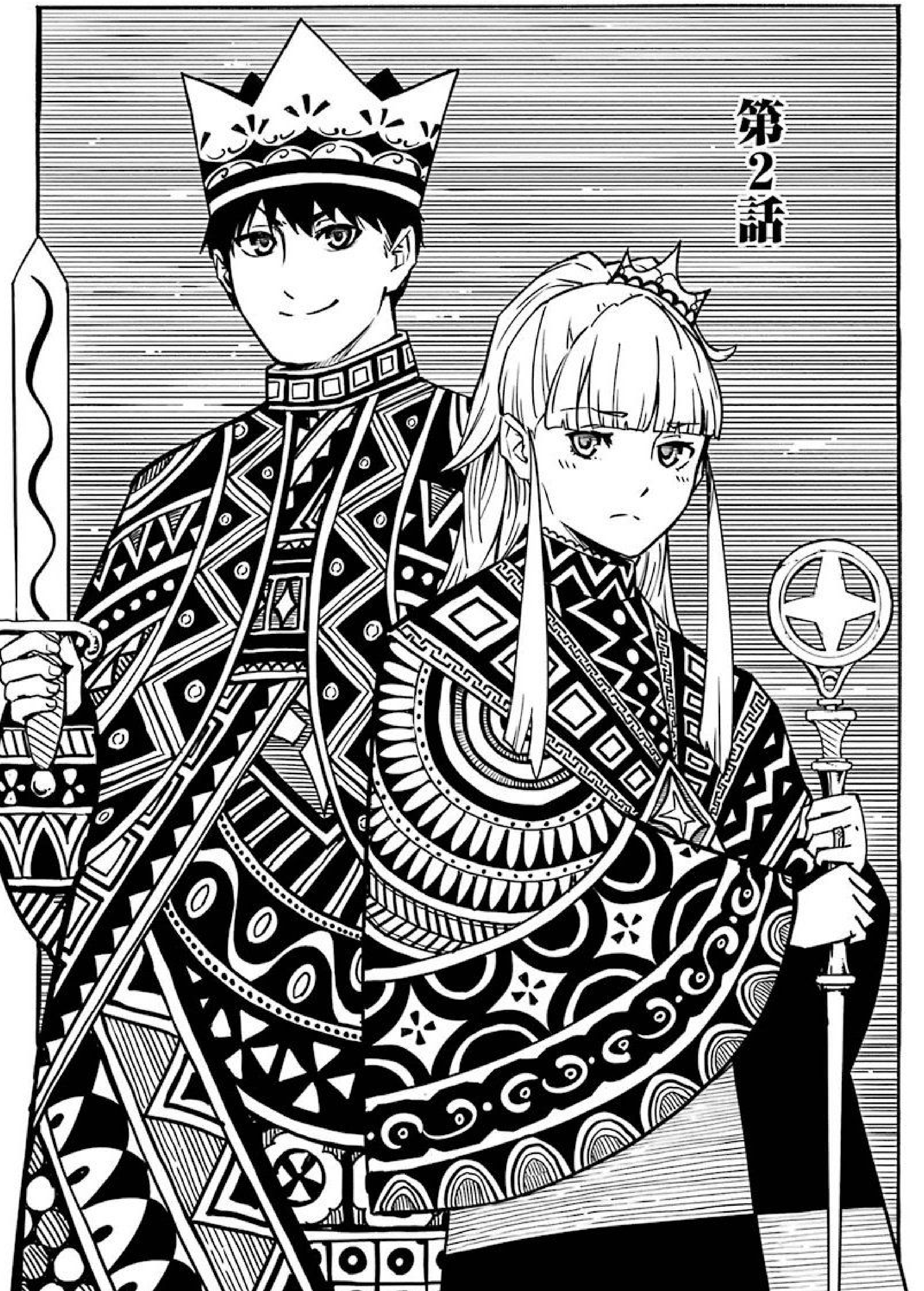


さっきサトウが使った力……
あれはその結婚指輪のものなの
!!
簡単に言うと……その力は…
この世界を救うためのものらしくって…
ゴメン！
わたしサトウのこと
勇者に選んじゃった♡


これは
ごほーびー……

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS


第2話


改めて見ると凄い建物だな〜〜……
外国…には行ったことないけどこんな感じか？
……俺
本当に別の世界に来たんだな


あの時はヒメと離れたくない一心だったし
俺には追いかける手段があった
きっと……誰だってこうしたさ
ただ……
ちょっとだけ
ほんのちょっとだけ思っていたのと違った
……それだけだ
ほら！あの殿方…


あのお方が指輪王様よ！
ギョッ
別の世界から来たっていうけど…
あたしたちとそんな変わんないよね？
姫さまもいた場所なんだから当然でしょ？
指輪王…？
じーーっ
この国の王様のことか？
…でも凄いお方なのよわたし見てたんだから！
まぶしく輝く光の剣で深淵の魔物をこうズンバラリと…！
ズンバーッ
キャーーーッ!!
こっち見たーーっ
はっ
まいったな……


サトウ！
やっぱり……
思っていたのとは
違いすぎる………！
ほっ…
ここに…
いたんだ


ズラーーーーーーーッ…
彼が…
本当に深淵の魔物を倒したのか？
ヒソ
ヒソ
とてもそうは見えないが…
ヒソ
ヒソ
なんと奇妙な格好だ…
ヒソ
ヒソ
先ほどの姫君もそうだが…異界人というのは皆こうなのか？
こんな男が信用できるのか!?
ヒソ
…しかし光の王国と帝国その架け橋となる婚姻の儀式だったはずが……
皇帝陛下の知るところとなればさぞお怒りになられるぞ
深淵の魔物も現れたというのにああ厄介だ厄介だ…


いやぁ…
そう言われてもなぁ……
…まったくどういうつもりでこのような者を指輪王に選んだのか
異界育ちの姫君の御心は計り知れませんな
はっ…
スッ
!!
サトウ……



…光の輪の君が選ぶ者こそが世を救う指輪王となる
！
王子…！
僕は……そして彼も救世の伝承に従ったまで
そこに父上の御意志も帝国の思惑も関係ないはずだ
……
ふんっ…
出来損ないが知った口を…
スッ
そろそろよろしいかな


そなたらがお目通り願いたいと申すからこうして時間を割いていただいたのだ
王を待ちわびておる者たちは他にも大勢おるのだぞ
さぁ・・・
こちらへ


ワーッ!


深淵を打ち払い
アーヌルスに
光もたらす
指輪王の
御成り!!
ほれ
サトウくん!
何か言わんか
ええっ!?
ぽか〜〜ん…
皆
指輪王の再来を
待っておった
サトウくんは
この世界の
希望なんじゃ
期待に応えんとな
ゆ〜っ…

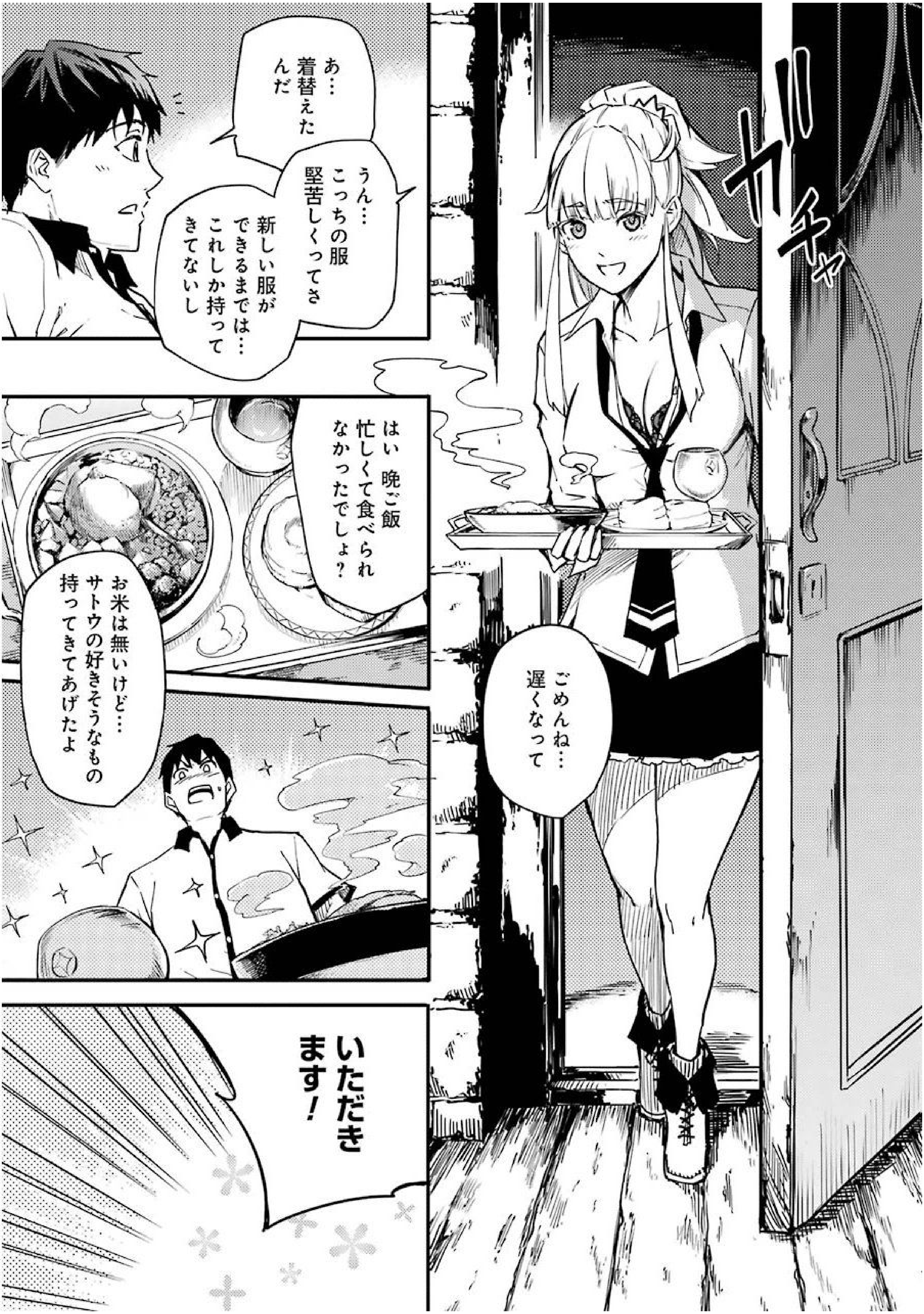

指輪王！
指輪王！
俺は……
指輪王!!
指輪王!!
俺は……ッ


俺は異世界から
この世界を救いに来た
勇者サトウ
だーーーっ!!
ワーッ!!


つかれたーっ！
ボフッ
えー…
あれからずっと貴族やらお偉方の挨拶…
ヒメもずっと忙しそうだったし
勇者サトウだーーっ!!
あーーっ！


できるかどうかもわからないのになんてことを……！
だいたいヒメのじいさんが煽るから……！
指輪王……か
ヒメがこの国のお姫様なんだから俺は王様なんだな……
キング……
ホホホ…
ヒメの行く先がどんな場所だってかまわないと思ってたけど
まさか俺自身がこんなことになるなんてな


王様…？
世界を救う？
ちょっと……
責任重大すぎるかな
ここでいいから…ありがとう
はい姫さま
？



ガチャ
ごめんね…遅くなって
あ…着替えたんだ
うん…こっちの服堅苦しくってさ
新しい服ができるまでは…これしか持ってきてないし
はい 晩ご飯 忙しくて食べられなかったでしょ?
お米は無いけど…サトウの好きそうなもの持ってきてあげたよ
いただきます!


ヒメは…やっぱりこっちに慣れてるんだな
そんなことないよ
今までは…おじいちゃんがわたしをあっちの世界に隠してくれていたから
こっちに来るのは10年ぶり
でも生まれたとこだし小さい時のことも結構覚えてるんだ…
……
そっか…
もぐもぐ
うまいな…これなんの肉だ?
まぁいいか
ごめんね……サトウ



指輪を渡したら こうなるって… わかってたのに
ぽろ
ぽろ
わたし…こんな… こんなわけわかんないことに サトウを巻き込んで……
ガタッ
えっ… ええっ!?
急に どうした!?
サトウは…何も 関係ないのに わたしのせいで…
いや…大丈夫…
俺は大丈夫 だから!
ほら…これから 夏休みだろ? 家の鍵も閉めて 来たしさ!
ちょっとした 海外旅行みたいで 結構楽しいし…
行ったこと ないけど!


なにそれ…
それに…
ヒメはこっちにいなくちゃいけないんだろ
うん…
わたしはこの世界の人間だから
でもサトウは…
なら俺もこっちにいる


昨日の怪物は
ヒメと指輪を
狙っていたんだろ
俺にしかできない
ことがあるなら
側にいるさ
ぐっ
サトウ……
ヘンな
髪の色…
…不良
不良だよ!
違うよ…
ガイコクジン
だよ
わたしたちとは
違うヒトなんだよ
スッ…
!!
MATSUGAOKA


サトウ……
また……
守ってくれるんだ
ん？
なんでもないっ
ありがと！


ザパァ…
ふう～～～～……
まさか異世界に風呂があるとは
この広さ…さすが王様
悪くない！
メイドさんたちには参ったけど……
お背中お流ししましょーか!!
ひとりで大丈夫です！


うわっ広っ…
ヒメっ!?
こっち見んな!!



ばっ
しかたないでしょ！
こういう時一緒じゃないと変だ……って言われたし
新婚さん……
…ってことになってるんだから
ざぱあっ
そういうもんなのか!?
わたしだってこの国のことなんでも知ってるわけじゃないの！
そりゃたしかにパパとママは一緒に入ってたけど…
あとこっち見んな！
離れろ！


はぁ………
…さっきは ああ言ってたけど
ホント 大丈夫なの？ サトウ
…ん？ 任せとけって
なにせ俺は 光の姫君に 選ばれし夫 指輪王だから な！
ビッ
………
…あのね
一応ちゃんと 言っとくけど…
ふぅ…


わたしたちのこと……
あっちの世界の夫婦と同じだって思わなくて良いから！
！
王族の結婚なんて
あくまで形だけのものだし
サトウのことも…つい選んじゃっただけだから……
ホント！
責任とか感じなくていいから！
サトウは今までどおり
幼なじみの友達だから！


…うん
だけどさ
ヒメが俺を選んでくれたこと
ついでも嬉しかったよ
ばしゃっ


ほんっと……
サトウはわたしのこと好きだね………！
ばっ
あぁ……
友達として！
………だよね


……もちろん
ヒメは大切な……友達だ
……そっか
良かった
!!
なっ…なんだ!?



ざぱあっ
姫さま！深淵の眷族が…！
…なんだって！
キャーーッ!!
だばだば
だばだば


指輪を持つ者は
………どこだ？
知らん！
………いやっ
恐らく南の塔…
南の塔の近くだ！

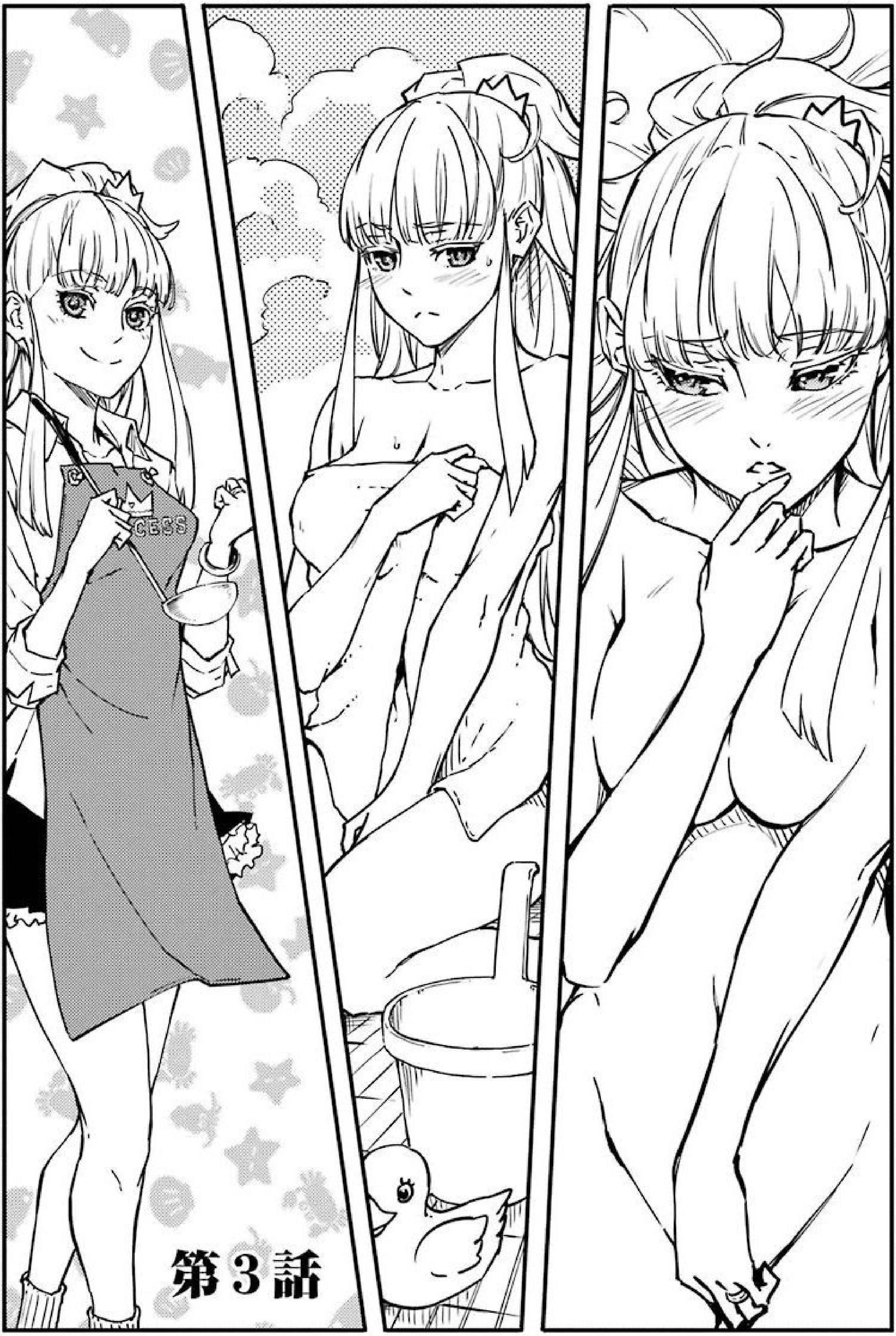

…………
はやく行け！
我々も突然現れたよそ者に指輪を奪われて困っているのだ
とっとと行って殺せ！
ゆらぁ…
……？

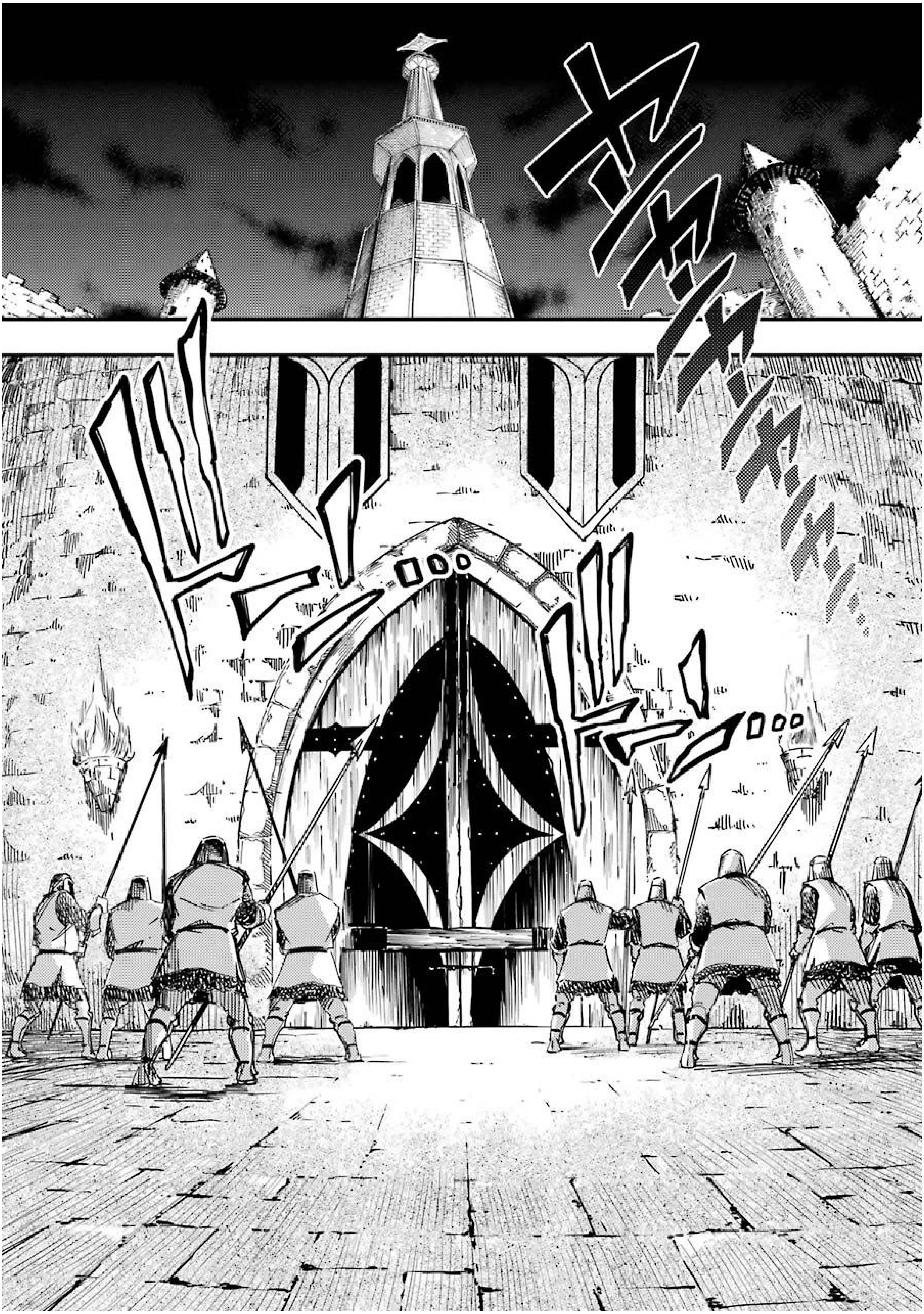

指輪王……


あんなに大きい
ものなんだ…!!

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS


CESS
第3話


ドーン…
ドーン…


ドーン…
ドーン…
ドーン…
指輪王様が来てくださったぞ!!
…おお!


はぁ…
はぁ
はぁ
くしゃぁ…
じっとり…


ああ……
お楽しみのところでしたか…
違いますっ！こっ…これはお風呂上がりってだけで…！
まだです!!
…まだ!?
…指輪王様 深淵の魔物が複数で襲撃してきたのです
先日の1体は斥候だったのやも知れません…
どうかお力添えを！


無茶だよ…
サトウは戦い方なんて知らない
昨日まで普通の高校生だったのに……！
…それでも
やってもらわねばならん
その指輪を持つ以上は……
な


ああ…
任せてくれ！
ぐっ…
わーっ！
…これを


槍……?
剣じゃなくて…?
斧槍です指輪王!!
光の指輪は破邪の指輪
手にしたあらゆる物に魔を祓(はら)う光を与え…
その持ち主には力を与える
いわば…深淵を打ち倒す
最強の武器を生む指輪じゃ!


行け…指輪王サトウ！
ワァーーッ!!
悪しき者を打ち払いこの世界を救うのじゃ！
ヒメ……
俺はこっちの事情はよくわからないけど…
これがヒメの一大事なんだってことくらいはわかる
だから…俺は俺のできることをやる！
サトウ……


開けてくれ！
ダッ
じゃあ…
行って来る！
！
おーーっ…
ひゅーーっ!!


いってらっしゃい
……あなた
お……
おう……


い……
いやっ…！
!!


ゆっ……
指輪王さまぁ！
はやくっ！
みんな南の塔にいるから……！
は……はいいいっ！
これで…3体目！
昨日はひと振りで力尽きたのに……
…それは先ほどの姫の口づけのおかげじゃな
!?
夫婦としての絆の強さ…それがその指輪の力となる…！
戦いに赴く王の力となることも姫の務めじゃ



なるほど…
それでヒメはあんなこと…
……ま
今のサトウくんではそれでも長くは持つまいが……
大丈夫！このワシも控えておる！
サトウよ…
安心して戦え！
あ…？…うん
そういやヒメのじいさんって賢者アスパラガス…？とか言われてたけど
…なんか役に立つのか？
ブワッ
………？


なんだ…？
今までのと違う……
アイツも敵か？
見つけた…光の指輪……
…指輪王！


あの姿…！
ば……馬鹿なっ…
深淵王の騎士じゃと!?
ヒメが力をくれたんだ…
まだまだいける！
いかん…
待つんじゃサトウくん！


なんだ…
この風っ…!?
ビリィ…
ピキィ…


どわあッ…
ズドァアン!!
けっ…
結構痛い…けどっ
この程度で済んでるのは指輪のおかげ
…ってことか
ボロッ…
いっ
えっ…!?
サトウくん…
勝てん！逃げるぞ!!
ええっ!?


なんだよ!?
さっきは最強の武器って…
ともかく今は逃げるんじゃ！


あれほどの者を送り込んでくるとは…
それだけ指輪王の力を恐れておるということか
何者なんだ!?
近づくこともできなかった………!
やつは深淵王の騎士
強力な魔法を操る恐るべき魔物……
光の刃が届く前に防がれてしまうとは……
厄介な相手じゃ
魔法!?
指輪の力でなんとかなるんじゃなかったの!?
今のままでは足りん!


足りないって…
何が!?
その話は後じゃ!
時間を稼ぐぞ…!
むんっ――


ズドドォオッ!!!
す…すげぇ!
なんだこれ!!
世の理に従い意思の力をもって万物の魔素を操る…
これも魔法…じゃよ
ニヤリ…
さぁ!
あそこを抜ければ……
じいさん…!


しまった…
回り込まれたか!
ガバッ!!
!


…王子!!
…でかした!
はやく…! 向こうに馬車が!
!
ちょっと待て… 城の外まで 逃げるのか!?
まだ中には ヒメが…!


それは案ずるな！
とにかく今はこちらへ…！
ゴオオオオオ
ガタガタッ
ガタッ…


ガタガタ
ガタガタ…
サトウ…！
がばっ…


良かった……
無事で…
ホント…良かった……
ヒメ…
――結局南の塔まで魔物の侵入を許してしまってね…
姫の身に危険が迫る前に
安全な場所へ連れ出すことになったんだ…
さっきはありがとうございます
助けてもらって…
えっと…
僕の名はマルマリギアス・ギサラス
光の王国ノカナティカの隣国帝国ギサラスの第二王子だ



ま…？マル……マルゲリータ…………さん？
…ありがとうございました
フフッ
マルスと呼んでくれればいいよ
…それより王国は大丈夫でしょうか……
賢者様
ふむ……
あの程度では深淵王の騎士の足止めにしかならんじゃろう
光の力なくして高位の魔物を消し去ることは難しい……
それじゃあやっぱり俺がなんとかしないとダメなんじゃ！
そのサトウくんに力が足りないから逃げとるんじゃよ


ッ………
深淵王の狙いは今のところ指輪王自身とその指輪
城におらぬとわかれば探索をはじめるはず
これ以上被害は出まい
じいさん…さっきも言ってたけど
足りない……ってどういうことなんだ!?
うむ………
サトウくんの指輪王としての力は今はまだ小さなもの


その力を完全なものとするにはあと四つの指輪が必要なんじゃ
!?
あと……
四つって…
これ結婚指輪なんだろ!?
……………と
いうことは


…そう
サトウくんにはこれからさらに四人の姫と結婚し
指輪を授かってもらうことになる…！


ええーーっ!?
そんなの…
重婚になるじゃん!
指輪王とは
そういうものじゃ
なんの問題もない
…どうじゃ?
わくわくする
じゃろ?


ゆくゆくなんて
しませんけど…!!

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS

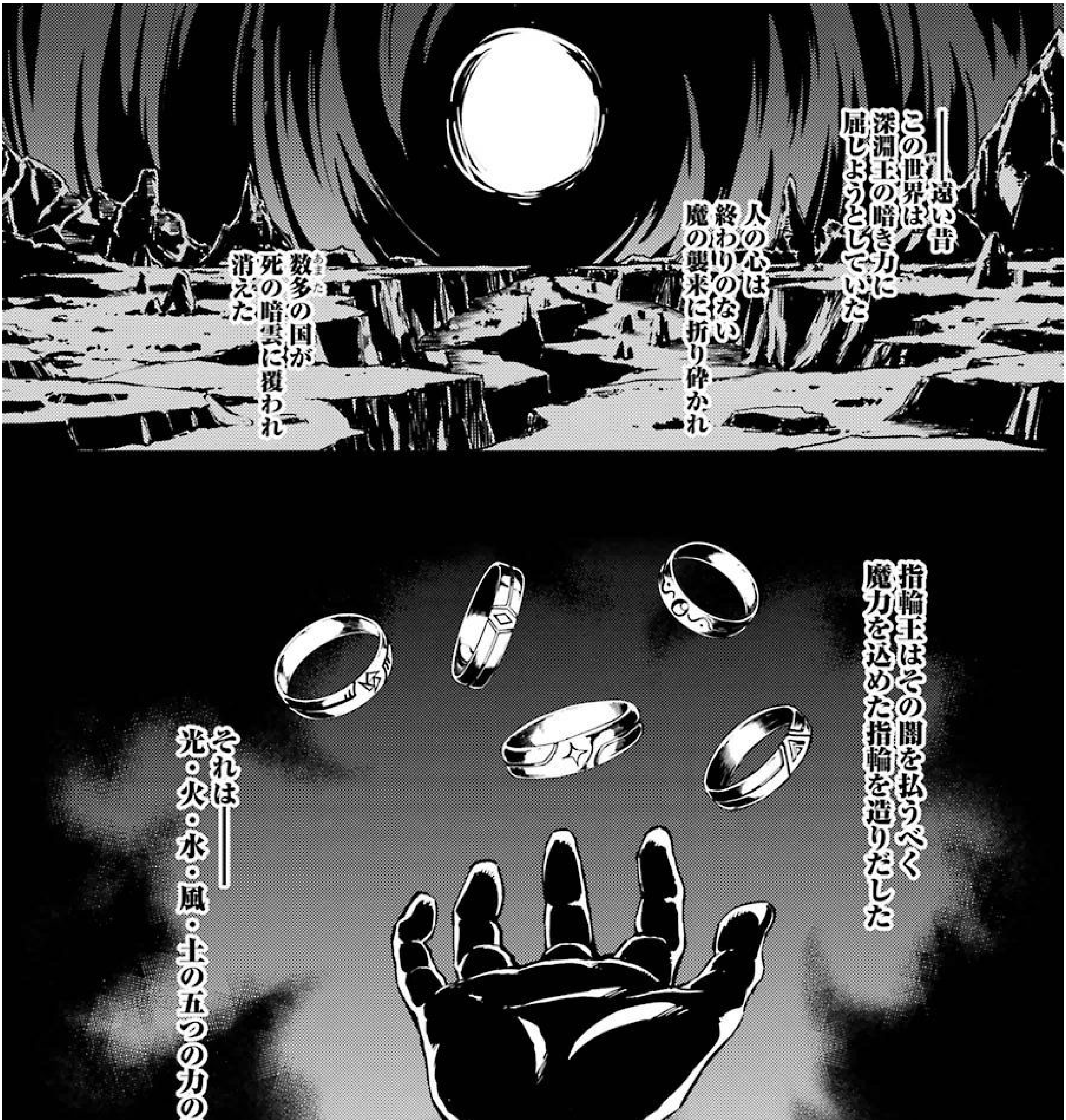

第４話


いやぁ〜…宿屋ってこんな感じなんだな〜
それにしても部屋が空いてて良かったよ！
うん……
なんか…ベッドは一緒になっちゃったけど
……
明日からきっと長旅だからちゃんと休まないとね！
…ああ！


はぁ……
気まずい……!


……二部屋しか空きがない？
へえ…
…なら我々男性は3人で……
いや…クリストルをひとりにするのは危険やもしれん！
ここはわしが一緒の部屋で…
え……イヤだし
ガーーン。。。
それなら…


当然 夫であるキミが同室ということになるな
それでは…お部屋の準備をして参りますね
うむ…
…さて
明日から行動を起こす前に簡単に話をしておこうか
指輪王の真の使命とは
なんであるか


―遠い昔
この世界は
深淵王の暗き力に
屈しようとしていた
人の心は
終わりのない
魔の襲来に折り砕かれ
数多の国が
死の暗雲に覆われ
消えた
指輪王はその闇を払うべく
魔力を込めた指輪を造りだした
それは――
光・火・水・風・土の五つの力の指輪
指輪王は
その力により
永き死闘の末に
深淵王を
討ち封じた


その後……
五つの指輪は
指輪王の妻たる
五人の姫により
五つの国に伝えられ
代々受け継がれる
こととなった
姫と指輪王の絆の証
五組の結婚指輪として……
そして
いま――
深淵王は復活し
その力を
取り戻しつつある
指輪王の使命とは…
再び五人の姫から
五つの指輪を受け取り
その力でもって
深淵王を封じること



……それが
指輪王の使命
…………か
でも……
気にすること
ないよ
結婚なんて…
形だけなんだから
いやっ…
俺は……
ッ……！


サトウ…？
打ち身…かな？
なんともないと思ってたんだけど……
脱いで！
ええっ!?
そんないきなり大胆な……
こんな時にふざけないで！
……！


わたしの
せいだ……
はは…
いや
これは俺が調子に
のったからだし…
じいさんが止めるの
聞いとけば良かったな
わたしが…
サトウを
選んだ
から……


ヒメっ…!?


責任を感じるっていうのはわかるけど……
やっぱりなんか様子がヘンだよな……ずっと
……あ
マルス……さん


ヒメ……見ませんでしたか？
クリストル姫なら先ほどここを通ったよ
……何かあったのかい？
まぁ…
色々……
…なるほど
指輪王と…指輪の姫
その使命の重責に耐えかねることもあるのだろうね
いやっ…！そんな大げさなことじゃ……
指輪王サトウ
僕はね…
キミには感謝しているんだ


正直なところ僕は
使命から逃れられて
内心ほっとしている
……な！
…キミは
彼女を追いかけて
異界から来たんだろう
…大切なんだね
そんな…
俺はただ……
愛する者を追うために
それまでの世界をなげうつ
それは
容易いことではない
誇れることだ
………！


ふっ…
…悪い
引き留めてしまったね
彼女はこの先の裏庭だろう
行ってあげてくれ
あ……はい！
タタタタ…
……僕にも
そんな勇気があればな…


サトウ……
きゅっ…


俺は…ヒメが好きだ！
……………！
俺はヒメのために
ここにいる
…でもさ
これはあくまで俺が自分の意思で決めた結果だから…
ヒメが責任を感じることじゃないよ
サトウには…覚悟があるんだね



わたし…これでもずーっと悩んで
色々決心して
こっちに来たんだよ
野中姫乃だった時のことは全部忘れて
光の輪の君クリストルとしての使命を果たそうって
わたしの生まれたこの世界のために…
知らない人とだって結婚して
…それ以上のことだって
でもサトウが追いかけてきたせいで
わたしの覚悟はぜんぶ消えちゃった
だって…
本当に好きな人と結婚できることになっちゃったんだから…！


でも
わたしの夫は
指輪王になる…
知らない人なら
ともかく…
好きな人が
傷ついたり
他のお姫さまと
浮気するのは
イヤだもんね
………
ごめん…俺は
自分のことばっかりで
ヒメの気持ちなんて
何も………
ううん
サトウは
何も
悪くないよ
…え？
わたしが
こんな気持ちに
なっちゃってるのは
サトウにちゃんと
向き合ってない
からだもん！


だから…
もうやめる！
わたしも覚悟を決めた
わたしはちゃんと
…形だけじゃない
本当の夫婦として
サトウと指輪の使命を
果たす………！
ヒメ………


サトウ……
わたしを改めて
あなたのお嫁さんに
してくれる？
…ああ！


ジジ…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ…
どうしよう…！



サトウ…
はっ
さっきあんなこと言った手前……
だらだら
だらだら
なんかそういう空気になってしまった気がする…！
わたしは…その……
お嫁さんになる覚悟はできてるから…！
ごくり…


トンッ…
ドクンドクン
ドクンドクン…


本当に…しちゃって良いのか⁉
望んでいたことではあるけど…もっとこう……
スッ…
サトウ…？
どうしたの……？
違う……
こういうのじゃない………


俺とヒメのはじめてはもっとこう……
甘い感じなんだよ!!
はあっ!?
こういう空気に流されてっていうのは間違ってる!
俺のヒメへの10年間の想いがこんな形で遂げられて良いはずがない!
え…なにソレキモい……
わかってるよ!!!
とにかく…
こういうのは俺たちらしくないよ


幼なじみから一足飛びに夫婦になったんだ
夫婦らしいことは…ちょっとずつな
……うん
そうだね


どうじゃ？昨晩はよく眠れたかい？
ふぁぁ…
うん…ばっちり！
眠れるわけない……！
はぁー…
…なんじゃ あれから何も せんかったのか
あんなに盛り上がって おったのに…
つまらんの〜
!!
見てたのか!?
…おっと失言
絆 それすなわち 指輪王の力と なるからの


ふたりの絆が深まるのは良いことじゃ
おはようご両人！
問題は解決したみたいだね


すまんな マルス王子
色々と手間をかけさせてしまって
いえ大賢者様 指輪王のお役に立てるならば
スッ
さあ…これを
…
異界の服は少しばかり目立つからね
準備はできたようじゃな
では…参ろうか!
!



…まずは
知識の民エルフの隠れ里
風のロムカ
その王家に
風の指輪が伝わっておる
エルフ…!?
結婚式の時にも
おったじゃろ
ほれ…耳のながーい
ひょろっとした……
サトウくんの世界でも
有名な………
ああ〜〜っ…
エルフの里に
行くのかぁ
〜〜〜〜っ…
王子…?


はぁ～…
エルフの知人は何人かいるけど苦手なんだよね～
彼らはどうも享楽的というかなんというか…
享楽…的…？
自身の快楽にふけり追求する者が多い…ということじゃ
姫様も相当の変わり者であることを覚悟せにゃならんぞ！
モャ
モャ
快楽にふける…
お姫様!?
フフ…異界のオトコ…
いちど お相手して もらいたいわ…
ほほほ どうやら俄然やる気になってきたようじゃの
モャモャ
モャモャ
ゴゴゴゴ…


サトウ!!
ホントのお嫁さんは
わたしなんだからね!
……うん!
わかってる……!


指輪王……
外から来るモノ…
なんと…悍(おぞ)ましい…！
結婚指輪物語1　おわり


ホントは
さっきお風呂で
見ちゃった
サトウのアレが
その……
怖くって……
えっ……!?

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS



あとがきページ

正直ファンタジー漫画描くことになるなんて思ってなかった…。

前作(『黄昏乙女×アムネジア』)が学園もので閉鎖的な世界観のお話だったんですが、
せっかくなのでガラッと雰囲気を変えてみたいなぁ～と思って、
色々考えた結果、ファンタジーに挑戦することにしました。

最初は、異世界から逆に女の子が来るパターンだったり、
男子高校生3人が異世界に飛ばされて、それぞれにヒロインが～みたいな感じのも
考えてたんですが、色々あって単純な今の形に落ちつきました。
単純にしすぎた気もしますが、ファンタジーっぽいのをやること自体がはじめてなので、
あまり気負わず手探りながら挑戦していきたいと思います！

——あと、この作品の内容は某世界的有名作品のパロディではありません。
タイトルは『結婚指輪物語』ですが、それはこのお話の要素から導き出される
一般的な単語を組み合わせた当然の帰結なんです。本当です ゆるしてください。

後ろのイラストは連載告知用に描いたイラスト没案です。
細かい所のデザインが若干ちがいますね！あと、サトウの顔がちょっとキモい。

めいびい

た布として用いられる．おだやかな気質と有益さから人々に愛され
とても大切にされ可愛がれているその獣の名は『タオルケット』．
異世界の寝具と同じ名前を持つが，どのような関わりがあるのかは
不明という未だ謎多き獣である．

人間の領域であるノカナティカの周辺は古くより指輪王信仰が篤い．世界を救った指輪王をたたえ，来る世界の危機にその再来を願うという信仰である．しかし長らく深淵王の脅威は遠のき平和な世が続いたため，おおらかな，ともすれば適当な信仰心が培われている．指輪王の墓とされる場所は国内だけでも八十八カ所．いずれが本物なのかを真剣に調査する者も無く，それどころか指輪王墓所巡りは国内外から多数の観光客を呼び込んでいる．また，年に一度ノカナティカ広場で行われる指輪王祭りも大変な人気で，当日は巨大な指輪王像を中心に大変な盛り上がりを見せる．最後には指輪王像を燃やし，一年の無病息災を祈るというこの祭りはすでに百年の歴史を持つ．

食を見て国を識る．ノカナティカ王家の食の一例を示す．

・パン

麦の粉とふくらし粉を乳で練り焼いたもの．麦は収量が多く平民から貴族まで広く食べられている．

・野菜と肉の煮込み

野菜はサツマイモと豆．肉はタオルケットのものが一般的であり，王族には貴重な毛刈り前のタオルケットが供される．タオルケットは着てよし，食べてよしのまさに神が与えたもうた家畜といえるだろう．

・果実汁

近隣の林からとれた様々な木の実を適当に絞った飲み物．姫の要望で異世界の飲み物『ジュース』に似せ作られたがノカナティカ周辺の果実は食用に適さず，このような得体の知れないものを飲まされる指輪王も気の毒である．

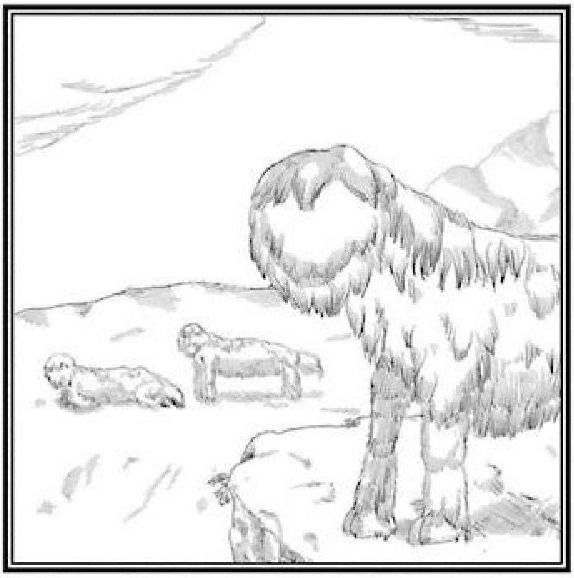


アースルレス博物誌

知られているこの世界のどこを探しても，指輪王と深淵王の伝説の時代より古い書物は存在しない．伝説の戦いは多くの国とともに書物という書物，記録という記録を焼き尽くし，深淵王は封ぜられてなおその名を書き記す事さえも恐れられたためである．しかし，禁忌を恐れ知識の光を持たぬままでは深淵を照らすことは叶わない．勇気ある先人が後世へと伝説を残したように，若き日に世界を巡り広く見聞した知識を博物誌としてここに書き記す．

——賢者アラバスタ=ゲトミキ

光の国ノカナティカは指輪王の帰りを待つ「正しき民」人間の国家．光の指輪を受け継ぐノカナティカ王家は，指輪王伝説を信じる人々から崇敬の念を集めており，長きにわたり平和を維持している．そのため農業牧畜とともに主な産業となるのは指輪王伝説の聖地としての観光業．民芸品の三角旗や指輪王の光の武器を模した木剣，木彫りの指輪王像などが観光みやげとして高い人気を誇る．他国との関係は良好だが巡礼者からは飲食店が割高という声があがり問題視されている．つまり平和である．



ノカナティカは指輪信仰以外にも特産の上質な布地で有名である．広大な草原で放牧される草食獣の毛を用いたその布地は優れた吸水性と保温力を持ち，様々な用途に重宝されている．胴体が非常に長いその獣は体のすべてが毛に覆われ，ありふれた動物ながら顔を見たものはめったに居ない．ほどよく縮れた体毛を持ち，刈り取り簡単な処理を施すだけで優れ

NEXT

次巻予告






案外残念な娘で、
不潔…！
他人とくちびるをあわせるなんてそんなこと……！
結婚なんてとんでもない!?…
さらにエルフの国は
良いか……ネフリティスは天使なんだ…！
てんし…？
クセ者ばかり……